

## あそびのしょうかい (スポーツ編)

とんだせいしょうねんこうりゅう 富田青少年交流センター 発信

とうきょう 東京パラリンピックがおわり、1年がすぎました。

さまざまな競技がおこなわれ、みなさんのなかでも、各国の代表選手のパフォーマンスに胸をおどらせた人も少なくはないでしょう。

そんなパラリンピックの種目に「ボッチャ」があります。富田青少年交流センターでは「ボッチャ」を子どもたちのあそびにとりいれており、長年、おすすめのあそびとしてボッチャを体験できる教室などを開催しています。



あかだま 青玉チームと赤玉チームが、それぞれ、白い的玉(ジャックボール)に自チームの玉を近づけるため、玉を投げたり、ころがしたりします。的玉をちよとせつねらったり、相手をじゃましたり、チームで駆け引きするたのしさが人気です。

### ボッチャ

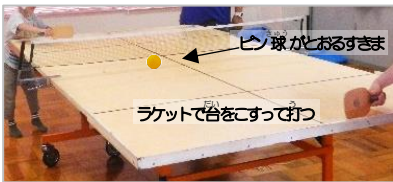


とうきょう 東京パラリンピック直後に当館でおこなった「ボッチャ体験」は、それまでの体験会をしのご申し込みがあり、世の中の関心のたかまりを感じました。



おきな 幼い参加者にはちよとおもい玉でも補助具(ランブ)をつかっところかすなど、いろいろなひとが楽しめるのが「ボッチャ」の魅力です。

### サウンドテーブルテニス



「きく」ことが大切なスポーツで、「みる」力の個人差は、アイマスクをすることでなくします。打ち合いはピン球を転がして行うため、卓球台に特徴があり、ネットの下にピン球がおるすき間があります。木製のラケットにはゴムがはっていないため、ピン球を打つと、音がよくひびきます。



「きく」ことをたよりにおこなうこのスポーツは、なれが必要ですが、続けるうちに集中力がとぎすまされていきます。

もうひとつのおすすめは、パラリンピックの種目ではないものの、高槻市民の間でも、永く楽しまれている「サウンドテーブルテニス」です。

その名のとおり卓球ですが、専用のピン球に金属の粒が入っていて、動くとカラカラと音がなり、音をたよりにプレイします。

9月17日におこなう「本気の卓球体験」のプログラムには、「サウンドテーブルテニス」の体験もあります。

くわしくは、下欄をみてね。



### オープンキッズルーム サタデーそうべえ

「はじめて」歓迎! **本気の卓球体験**



そうべえの卓球は、ラケットを初めて握る子からマイラケット持ち込みの子まで一緒に、わからないことを教え合いながら楽しんでいます。そんな日常とは違うサタベえで「勝ち負け」「ラリー」「サーブ」「駆け引き」いろいろな本気の交流をしてみませんか。

【日時】9月17日(土) 10時~正午

【場所】富田青少年交流センター

【対象】市内小学生とその家族

【定員】20人(申込順)

【申込】9月1日(木)から、電話・FAX・窓口にて受付

〈記載事項〉①事業名 ②住所 ③参加する小学生の氏名(ふりがな) ④学校名 ⑤学年(年齢) ⑥小学生以外の参加者の人数と各年齢 ⑦電話番号

**無料**

